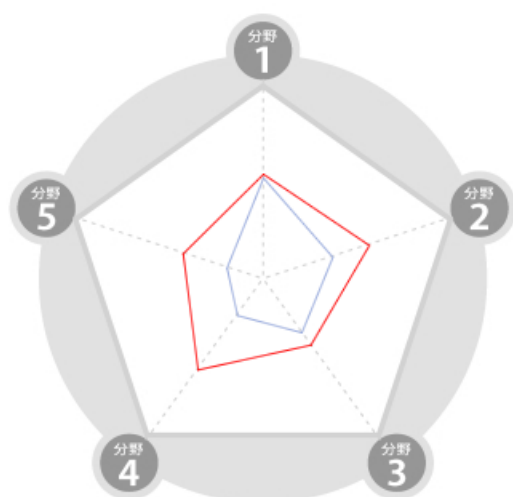


他分野における取組の「見える化」の例

- ・ 仕事と家庭の両立の取組を支援する情報サイト「両立支援のひろば」
<https://ryouritsu.mhlw.go.jp/>

5つの分野に関するチェック項目に回答すると、それぞれの分野における回答企業の状況等が点数となった診断結果が出る。(下添のイメージはトライアル診断にランダムに回答した結果。)

両立診断結果(トライアル診断)



— 貴社の得点率
 — 全社の平均得点率

全社の平均と比較して、貴社は、仕事と育児の両立ができる制度を整備しているか、利用は進んでいるかをチェックしてください。メイン診断に進むと、診断コメントや産業・規模・地域別での他社と比較した自社の位置付けが詳細に分かる診断結果が表示されます。「メイン診断に進む」又は、「保存用キーワードを取得する」ボタンより進めば、入力した内容をメイン診断に引き継ぐことができます。

| | | |
|-----|-------------------|-----------|
| 総合 | | 320点/610点 |
| 分野① | 両立支援のための環境整備 | 115点/210点 |
| 分野② | 仕事と育児の両立支援 制度整備状況 | 75点/130点 |
| 分野③ | 仕事と育児の両立支援 利用状況 | 40点/95点 |
| 分野④ | 仕事と介護の両立支援 制度整備状況 | 55点/95点 |
| 分野⑤ | 仕事と介護の両立支援 利用状況 | 35点/80点 |

・消費者教育ポータルサイト

<https://www.kportal.caa.go.jp/index.php#search-imagemap>

消費者教育に関する教材、講座、取組がまとめられており、ライフステージ（幼児期～高齢者）とジャンル（重点領域）の組み合わせから、相応しい教材、講座、取組を検索することが可能。

消費者教育の体系イメージマップ検索

ライフステージ（幼児期～高齢者）とジャンル（重点領域）の組み合わせから、相応しい教材、講座、取組を検索します。

| 各期の特徴 | 幼児期 | 小学生期 | 中学生期 | 高校生期 | 成人期 | | | |
|-------------|---|--|--|---|--|---|---|---|
| | | | | | 特に若者 | 成人一般 | 特に高齢者 | |
| 重点領域 | 様々な気づきの体験を通じて、家族や身の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期 | 主体的な行動、社会や環境への興味を遣って、消費者としての素地の形成が望まれる時期 | 行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期 | 生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期 | 生活において自立を遂め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期 | 精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期 | 周囲の支援を受けつつも人生での豊富な経験や知識を消費者市民社会構築に活かす時期 | |
| 消費者市民社会の構築 | 消費がもつ影響力の理解 | おつかいや買ひ物に物に気づく | 消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう | 生産・流通・消費・廃棄が環境、経済や社会に与える影響を考えよう | 生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響を身に付けよう | 生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響に配慮して行動しよう | 消費者の行動が環境、経済、社会に与える影響に配慮することの大切さを伝えよう | |
| | 持続可能な消費の実践 | 身の回りのものを大切にしよう | 自分の生活と身近な環境とのかわりに気づき、物の使いなどを工夫しよう | 消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を実践しよう | 持続可能な社会を目指したライフスタイルを考えよう | 持続可能な社会を目指したライフスタイルを実践しよう | 持続可能な社会に役立つライフスタイルについて伝えよう | |
| | 消費者の参画・協働 | 協力することの大切さを知らう | 身近な消費者問題に目を向けよう | 身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成について考えよう | 身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むことの重要性を理解しよう | 消費者問題その他の社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けた行動の場を広げよう | 地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくろう | 支え合いながら協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくろう |
| 商品等の安全 | 商品安全の理解と危険を回避する能力 | くらしの中の危険や、ものの安全な使い方に気づこう | 危険を回避し、物を安全に使う手を知り、使おう | 安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう | 安全で危険の少ないくらしをする習慣を付けよう | 安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくろう | 安全で危険の少ないくらしの大切さを伝えよう | |
| | トラブル対応能力 | 困ったことがあったら身近な人に伝えよう | 困ったことがあったら身近な人に相談しよう | 苦情方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう | トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用法を知ろう | トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用する習慣を付けよう | 地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくろう | 支え合いながらトラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう |
| 生活の管理と契約 | 選択肢契約することへの理解と考える態度 | 約束やきまりを守ろう | 物の選び方、買い方を考え適切に購入しよう | 商品を選択し契約するルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう | 適切な意思決定に基づいて行おう | 契約の内容・ルールを理解し、くらしに活かそう | 契約とそのルールを理解し、くらしに活かそう | 契約トラブルに遭遇しない暮らしの知恵を伝えよう |
| | 生活を設計・管理する能力 | 欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう | 物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう | 消費に関する生活管理の技術を活用しよう | 主体的に生活設計を立ててみよう | 生涯を見通した計画的なくらしを目指して、生活設計・管理を実践しよう | 経済社会の変化に対応し、生涯を見通した計画的なくらしをしよう | 生活環境の変化に対応し支え合いながら生活を管理しよう |
| 情報とメディア | 情報の収集・処理・発信能力 | 身の回りのさまざまな情報に気づこう | 消費に関する情報の集め方や活用方法を知らう | 消費生活に関する情報の収集と発信の技術を身に付けよう | 情報と情報技術の適切な利用法や、国内だけでなく国際社会との関係を考えよう | 情報と情報技術を適切に利用する習慣を身に付けよう | 情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう | 支え合いながら情報と情報技術を適切に利用しよう |
| | 情報社会のルールや情報モラルの理解 | 自分や家族を大切にしよう | 自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう | 著作権や発信した情報への責任を知ろう | 望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう | 情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう | トラブルが少なく、情報モラルが守られる情報社会をつくろう | 支え合いながら、トラブルが少なく、情報モラルが守られる情報社会をつくろう |
| | 消費生活情報に対する批判的思考力 | 身の回りの情報から「なぜ」「どうして」を考えよう | 消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知らう | 消費生活情報の評価、選択の方法について学び、意思決定の大切さを知らう | 消費生活情報を評価、選択の方法について学び、社会との関係を理解しよう | 消費生活情報を主体的に吟味する習慣を付けよう | 消費生活情報を主体的に評価して行動しよう | 支え合いながら消費生活情報を上手に取り入れよう |






コミットメントの例

- ・ 農業女子が取り組む SDGs

<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/sdgs-home/>

農業女子としての SDGs に関するコミットメントとともに、活動事例を掲載

“農業者のわたしたちにできる5つのこと”

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| その1 健康的な食生活の実現に取り組む |  | ▼ |
| その2 農業体験から“食”と“農業”の大切さを教える |  | ▼ |
| その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す |  | ▼ |
| その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する |  | ▼ |
| その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む |  | ▼ |



その1 健康的な食生活の実現に取り組む

(背景) 国内にも健康的な食生活を送っていない人がいる
(機会) 生産者として食材を提供すること、食の大切さを伝えることができる

(サブゴール)




(活動キーワード)

- ・ こども食堂
- ・ 団体や施設への食材提供（廃棄野菜活用を含む）&メニュー提案



【農業女子メンバーのSDGs 第2回 SDGsを身近なものに。「健康的な食生活の実現に取り組む」】

 農業女子プロジェクト事務局
2019年10月18日